11月イベントカレンダー

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、記載された催しなどが中止または延期となる場合があります。開催状況については各主催者にお問い合わせください。

開催日	イベント名	開場	開演～終演	会場
【企画展】収蔵品展―市川を愛したゆかりの作家１０人の品々― 展示期間：２０２１年１０月１６日（土）～１２月１９日（日）				企
6(土)･7(日)	★ 企画展関連イベント　ビデオ上映会 講演会「井上ひさしと現代演劇」講師：嶋田直哉氏	①10:30 ②13:30	①11:00～ ②14:00～	B
11(木)	★ 映像メディア編集ブース使い方説明会 （11/11・11/25・12/8　いずれか１回） 有料：1,000円　※要申込		①10:30～13:00 ②14:30～17:00	映
13(土)	★ 水木洋子邸　一般公開日		10:00～16:00	水木
14(日)	★ 水木洋子邸　一般公開日		10:00～16:00	水木
20(土)	★ ベルホールシネマ ①「偉人物語」 ②「血と砂」	①10:30 ②13:30	①11:00～11:33 ②14:00～15:01	G
21(日)	★ 第２１回「脚本家/水木洋子の世界」※要申込 映画「キクとイサム」上映と高橋エミのトークショー	13:00	13:30～	G
25(木)	★ 映像メディア編集ブース使い方説明会 （11/11・11/25・12/8　いずれか１回） 有料：1,000円　※要申込		①10:30～13:00 ②14:30～17:00	映
26(金)	★ グリーンシアター 「欲望という名の電車」	13:30	14:00～16:02	G
27(土)	★ 水木洋子邸　一般公開日		10:00～16:00	水木
28(日)	★ 水木洋子邸　一般公開日		10:00～16:00	水木

〔会場マークの見方〕
G ･･･グリーンスタジオ　B ･･･ベルホール　映 ･･･映像メディア編集室
企 ･･･企画展示室　文 ･･･文学研修室　水木 ･･･水木洋子邸

※「★　」･･･文学ミュージアム主催事業
※予告なく、掲載内容の変更･または中止の場合がございます。ご了承ください。

グリーンスタジオ及びベルホールをご利用のお客様で、ミュージアムレターに掲載を希望される方は、文学ミュージアム事務室にて「掲載依頼書」に必要項目を記入後、持参またはFAXにてご提出ください。
詳しい内容等については、文学ミュージアムまでお問合せください。

＜寄贈された主な資料＞
●城米彦造「詩画集　佃の渡」
●棟方志功「哀しき父と悲しき母の物語：完」（緑の笛豆本の会）
●谷中安規「版画天国」（岩崎美術社）
●谷中安規「しなびた親子」（バベル社）

星野道夫さん関連情報ご提供のお願い

文学ミュージアムでは、市川市ゆかりの写真家･作家である星野道夫氏（1952～1996）に関する以下の情報を探しております。
お心当たりのある方は、文学ミュージアムにお知らせください。皆様からの情報をお待ちしています。

☆星野道夫氏幼稚園、小学校在学時の資料（卒園･卒業アルバム、卒園･卒業文集、スナップ写真など）
･市川聖マリヤ幼稚園　1957 年入園～1959 年卒園
･市立平田小学校　1959 年入学～1965 年卒業

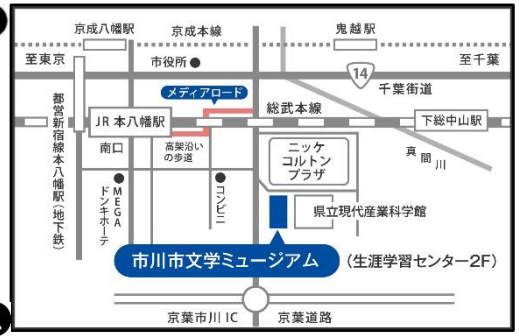
☆上記以外の時期の星野氏と市川が結び付けられるもの（写真、手紙、メッセージ、思い出話などどんな些細なことでも結構です）

【お問合せ先】
市川市文学ミュージアム
電話：047-320-3334

休館日
･月曜日（月曜祝日の場合は翌平日休館）
･館内整理日（毎月最終平日※ 8月と12月は除く）
･年末年始（12/28～1/4）

開館時間
火～金曜日　10:00～19:30（企画展示室の入室は19:00まで）
土･日･祝日　10:00～18:00（企画展示室の入室は17:30まで）
※3階 資料室は10:00～17:00（図書の閲覧、複写申込は16:30まで）

MAP



アクセス
【JR総武線】　本八幡駅･下総中山駅より徒歩15分
【都営新宿線】　本八幡駅より徒歩20分
【京成線】　鬼越駅より徒歩10分
【車】　京葉道路　京葉市川インターから5分
（駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください）
【コミュニティバス】
〈北東部ルート〉市川大野駅 ～ 現代産業科学館･メディアパーク
〈南部ルート〉南行徳駅、行徳駅、妙典駅 ～ 現代産業科学館･メディアパーク

市川市文学ミュージアム
MUSEUM LETTER
ミュージアムレター
2021年11月号

第21回　脚本家/水木洋子の世界

水木洋子を偲んで
映画「キクとイサム」の上映
高橋エミのトークショー

11月21日（日）
13:30開演（13:00開場）
◆定員；80名（入場無料）　※申込方法は中面参照
◆会場　市川市生涯学習センター2階
市川市文学ミュージアム内
グリーンスタジオ

◆上映作品「キクとイサム」
1959年（昭和34年）〔大東映画〕

◆トーク　出演：高橋エミ

※詳細は中面をご覧ください。

※　新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、記載された催しなどが中止または延期となる場合があります。開催状況については各主催者にお問い合わせください。

【 住 所 】　〒272-0015 千葉県市川市鬼高1丁目1番4号
市川市生涯学習センター（中央図書館）2階
【電話/FAX】　047-320-3334/047-320-3356
【HPアドレス】　https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html

発行日　令和3年10月25日　発行　文学ミュージアム　編集　Kilt Inc. 株式会社キルト

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、記載された催しなどが中止または延期となる場合があります。開催状況については各主催者にお問い合わせください。

上映会　グリーンシアター

入場無料　申込不要

11月26日(金)
「欲望という名の電車」

制作:1951年　アメリカ映画
(モノクロ・有声・字幕122分)

［時間］ 14:00～16:02 (30分前開場)
［会場］ 2階 グリーンスタジオ　［定員］ 先着110名

上映会　ベルホールシネマ
(会場はグリーンスタジオ)

入場無料　申込不要

11月20日(土)

①「偉人物語」

アニメ・カラー・33分

②「血と砂」

制作:1922年　アメリカ映画
(モノクロ・無声・字幕61分)

［時間］①11:00～11:33　②14:00～15:01
(各回30分前開場)
［会場］ 2階 グリーンスタジオ　［定員］ 各回先着110名

上映会について、大切なお知らせ

◆新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した際に、保健所からの要請に応じて情報提供を行います。ご入場の際に受付にて、氏名・ご連絡先のご記入に、ご協力をお願い致します。

◆12月の上映会につきましては、下記の通り開催を予定しておりますが、感染状況によって中止となる可能性もございます。予めご了承ください。

【グリーンシアター】
12月10日(金)　14:00～「風と共に去りぬ」
【ベルホールシネマ】
12月11日(土)　11:00～「ピーターパンの冒険」
14:00～「ウィンダミア夫人の扇」

令和3年度市川市文学ミュージアム企画展

収蔵品展 ―市川を愛したゆかりの作家10人の品々―

市川ゆかりの作家10人を取り上げ、自筆原稿や書簡、愛用品、市川を詠んだ作品などの収蔵品を展示します。
長年市川に暮らし作品に市川を登場させた永井荷風や井上ひさし、江戸川を眺める書斎が創作拠点だった詩人・宗左近、女性脚本家の先駆けとして活躍した水木洋子のほか、ある時期市川に住み、この地を歌に詠んだ歌人・北原白秋や吉井勇など多彩な作家たちを紹介します。資料をとおしてゆかりの作家と作品に、より親しみを感じていただければ幸いです。

展示期間:2021年10月16日(土)～12月19日(日)

【休館日】月曜日、10/29、11/30
【観覧料】 無料
【主催】 市川市
【会場】 市川市文学ミュージアム　企画展示室

収蔵品展関連イベント　ビデオ上映会

入場無料　申込不要

11月6日(土)・7日(日)
講演会「井上ひさしと現代演劇」

井上ひさしの演劇作品を振り返りながら、没後10年の現代演劇について昨年ご講演をいただいたビデオ映像の上映会を開催いたしま

講師:嶋田直哉氏(明治大学教授)

［時間］① 11:00～ ② 14:00～ (各回30分前開場)
［会場］2階 ベルホール　［定員］ 20名

通常展示エリアのお知らせ

入場無料

「能村登四郎生誕110年没後20年記念
俳人　能村登四郎と能村研三展」

展示期間:2021年7月1日(木)～2022年1月27日(木)

市川ゆかりの俳人能村登四郎氏の生誕110年・没後20年を記念して、登四郎氏とそのご子息であり俳人の研三氏の生涯と作品および文化活動をご紹介いたします。

イベント　第21回 脚本家/水木洋子の世界

11月21日(日)

入場無料　申込必須

水木洋子を偲んで
映画「キクとイサム」の 上映
高橋エミのトークショー

◆上映作品「キクとイサム」(13:40～15:37予定)
1959年(昭和34年)〔大東映画〕

水木洋子脚本のこの映画は、戦後、日本女性と米兵の間に生まれたキクとイサムの姉弟が、祖母の愛情につつまれ力強く生きる姿を、山村を舞台に明るく描いた作品です。

休憩 (15:37～15:50予定)

◆ トーク　出演:高橋エミ (15:50～16:30予定)
東京生まれ、本名は高橋恵美子。父はアメリカ人、母は日本人。1959年映画「キクとイサム」のキクを演じ好評を得る。その後、吉田正、江口浩司に師事し、1976年「旅立ちの詩」で歌手デビュー。1977年「ブルース」、1994年「生きる」「ありがとう おばあちゃん」を発表。

［時間］13:30～(13:00開場) ［会場］2階 グリーンスタジオ
［定員］ 80名(入場無料)
〔申込方法〕●はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記の上、文学ミュージアムまで事前申し込み
●11月11日(木)必着　●定員を超えた場合は抽選

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、記載された催しなどが中止または延期となる場合があります。開催状況については各主催者にお問い合わせください。

水木洋子邸

〔住所〕 市川市八幡5-17-3
〔最寄駅〕JR 総武線本八幡駅北口から徒歩約15分

一般公開

申込不要　入場無料

11月13日(土)・14日(日)
11月27日(土)・28日(日)

［時間］
10:00～16:00

掲載の情報は、予告なく変更する可能性があります。予めご了承ください。